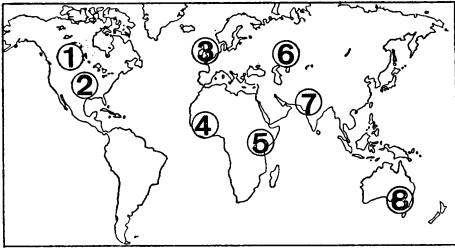


## 世界の異常天候とその影響評価 (9)

(Climate Impact Assessment, July 1984)



## 1. 合衆国とカナダのグレートプレーンズ——干ばつ

カナダ南部の草原地帯とこれに隣接した合衆国の一部の地域では、1930年代以来最悪の干ばつが発生しており、穀物の生産高の予想は急激に低下している。アルバータ州南東部、サスカチュワン州南部、モンタナ州北東部、ノースダコタ州西部では4月1日から7月28日までの降水量は平年の50%以下である。

カナダからの情報によれば、最も被害の大きかった地域では春小麦の約半分が失われるかもしれないという。もっとも、カナダの草原の他の地域では豊富な降水量によって農作物に好ましい状況になったところもある。7月29～30日にはカナダの草原で5～50 mmの雨が降り、農作物生産の減少は一時的に食い止められた。しかし、雨の降るのが遅すぎたため、干ばつの被害を解消するには至らなかった。

## 2. 合衆国南部の平原地帯——干ばつ

テキサス州中部では7月後半の2週間に大雨が降って干ばつから救われたものの、オクラホマ州とカンザス州南部では干ばつは一層ひどくなった。テキサス州においても雨の降るのが遅すぎたため農業被害からまぬがれることはできず、5億ドル以上の農業被害を受けたものとみられる。テキサス州のオースチン、コーバスクリスチやその他の地域では、水位の低下のために水の使用が制限されている。テキサス州のアビリーンでは1月1日から7月21日までの降水量は117 mmで、平年の38%に過ぎない。

## 3. イギリス・アイルランド——干ばつ軽減

7月後半の3週間に降った季節的な雨のため水位の低下と農業被害の拡大は食い止められた。

しかし、水位の回復と干ばつの解消のためには、もっと多くの雨が必要である。

## 4. アフリカのサヘル地方——干天

マリ、オートボルタ北部、ニジェール西部などのサヘル地方では7月の干天のため、農業と牧畜の見込みが低下している。

## 5. ケニア・ソマリア——干ばつ軽減

ケニアとソマリアでは7月中旬に季節的な雨が降り、干ばつによる農業被害の拡大は食い止められたが、雨の降るのが遅かったので以前の干ばつの被害を解消することはできなかった。

## 6. ソ連——高温乾燥

ウラル地方南部からカザフ地方中部を経てオムスク付近にまで至る春小麦地帯では、7月は季節はずれの高温乾燥の天候であった。この乾燥状態は小麦には好ましくないものである。7月の最初の3週間には、これらの地域の気温は平年より3～5°C高かった。

## 7. インド北西部——干天

インド北西部では6、7月の降水量が平年の4分の1程度であったため、綿花、落花生、穀物は悪影響を受けている。

## 9. オーストラリア——干ばつ軽減・洪水

7月中に降った大雨のため、干ばつの地域はビクトリア州とサウスオーストラリア州の一部だけとなった。一方、その東方の小麦地帯ではこの大雨のために局地的な洪水が発生したところもあった。

(注：上記各項目の番号は図中の番号に対応している)  
(気象庁気候変動対策室 真野裕三)